

平成29年度 第1回いじめ問題対策連絡協議会

平成29年6月30日

滝川市教育委員会

1. いじめの認知件数（滝川市 小中のみ）

(1) H28年度 月別いじめの認知件数（滝川市）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
中学校	0	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
計	0	1	5	1	0	0	0	2	0	0	0	0	10

(2) H25～28年度 いじめの認知件数（滝川市）

	H25	H26	H27	H28
小学校	2	2	2	4
中学校	5	0	2	6
計	7	2	4	10

1. いじめの態様（滝川市）

(3) H28年度 いじめ月例報告から（滝川市）

		小学校	中学校
いじめの態様	冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	3(2)	6(2)
	仲間はずれ、集団による無視をされる。	1(1)	1
	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	1(1)	0
	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	0(1)	1
	金品をたかられる。	0	0
	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	0	0
	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1	0
	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0	0
	その他	0	1

1. いじめの発見・相談相手（滝川市）

(4) H27年度 問題行動等調査から（滝川市）

			小学校2件	中学校2件
いじめの発見 のきっかけ	学校の教職員等が発見	学級担任が発見	0	0
		学級担任以外の教職員が発見	0	0
		養護教諭が発見	0	0
		スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0	0
		アンケート調査など学校の取組により発見	0	0
	学校の教職員以外からの 情報により発見	本人からの訴え	0	0
		当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	2(1)	2(0)
		児童生徒（本人を除く）からの情報	0(1)	0
		保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0	0
		地域の住民からの情報	0	0
		学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0	0
		その他（匿名による投書など）	0	0
いじめられた 児童生徒の相談の状況	学級担任に相談		2(1)	2(0)
	学級担任以外の教職員に相談（養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く）		2	0
	養護教諭に相談		1	0
	スクールカウンセラー等の相談員に相談		0	0
	学校以外の相談機関に相談（電話相談やメール等も含む）		0	0
	保護者や家族等に相談		2(1)	0
	友人に相談		0	0
	その他（地域の人など）		0	0
	誰にも相談していない		0(1)	0

（数字）は、平成26年度の
もの

2. 不登校児童生徒数（滝川市）

(1) H28年度 月別不登校の状況（滝川市）

月別不登校児童生徒数（月別：7日以上）※病欠は除く

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28 年間30日 以上	H27 年間30日 以上
小学校	3	3	2	2	3	5	4	7	5	4	4	3	8	8
中学校	16	20	21	20	21	22	23	24	22	21	23	21	36	26
計	19	23	23	22	24	27	27	31	27	25	27	24	44	34

(2) H28年度 不登校の割合（在籍比）

- ・ 小学校：0.44 %（北海道H27年度 0.38%）
- ・ 中学校：3.63 %（北海道H27年度 2.80%）

2 不登校のきっかけ（北海道・滝川市）

小学校			中学校		
分類	要因	割合	分類	要因	割合
1 「不安」の傾向 (30.3%)	家庭に係る状況	47.7%	「無気力」の傾向 (28.7%)	家庭に係る状況	43.8%
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	32.6%		学業の不振	36.9%
	学業の不振	19.6%		いじめを除く友人関係をめぐる問題	14.2%
2 「無気力」の傾向 (28.7%)	家庭に係る状況	80.0%	「不安」の傾向 (25.5%)	いじめを除く友人関係をめぐる問題	38.3%
	学業の不振	21.9%		家庭に係る状況	28.3%
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	9.3%		学業の不振	23.0%
3 「その他」 (27.8%)	家庭に係る状況	77.5%	「学校における人間関係」の課題 (21.9%)	いじめを除く友人関係をめぐる問題	70.0%
	学業の不振	11.8%		家庭に係る状況	14.5%
	入学、転編入学、進級時の不適応	6.1%		学業の不振	14.0%

(3) 不登校となったきっかけと考えられる状況（滝川）

区分	学 校 名	不 登 校	不 登 校 児 童 生 徒 の 欠 席 要 因																		長期欠席者数合計			
			心 因 性	意 学	学 業 不 振	友 人 関 係	教 職 員 と の 関 係	家 庭 事 情	そ の 他 ・ 不 明	複 合	複 合 要 因 の 内 訳													
											心 因 ・ 意 学	心 因 ・ 友 人	心 因 ・ 学 業	心 因 ・ 教 師	心 因 ・ 家 庭	意 学 ・ 友 人	意 学 ・ 家 庭	心 因 ・ 家 庭 ・ 友 人	心 因 ・ 意 学 ・ 家 庭	意 学 ・ 教 師 ・ 家 庭		心 因 ・ 意 学 ・ 教 師 ・ 家 庭	心 因 ・ 意 学 ・ 学 業 ・ 友 人	
小 学 校 計		8	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	21	
中 学 校 計		36	6	6	0	0	0	0	0	24	5	2	0	0	4	0	1	0	5	0	2	5	38	
小・中学校 合計		44	9	9	0	0	0	0	0	26	5	2	0	0	5	0	1	1	5	0	2	5	59	

※ 不登校児童生徒の中で、複合要因による不登校の児童生徒については別枠で示した。

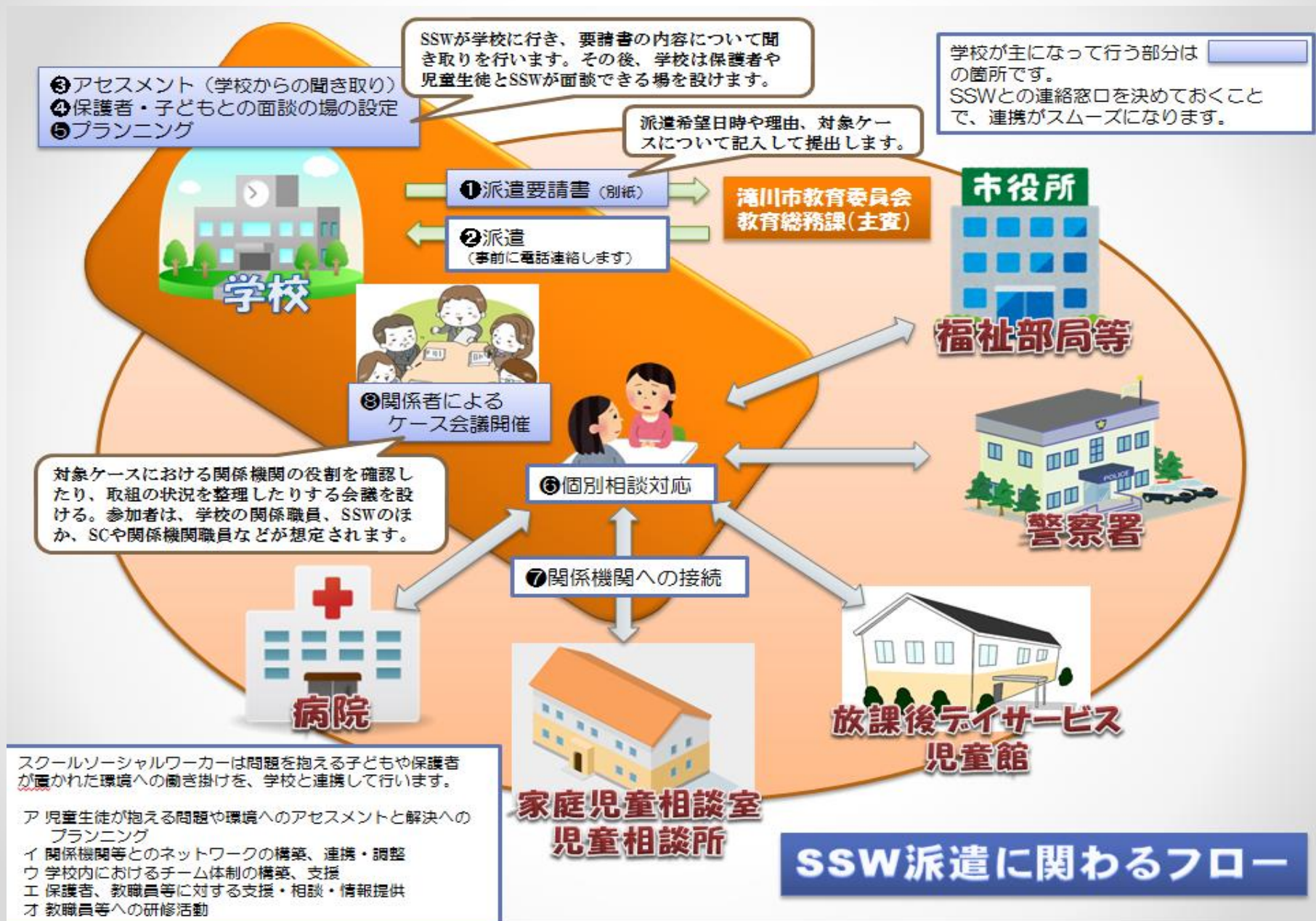
2. 効果のあった学校の措置

(5) 効果のあった学校の措置（滝川市） ※H27問題行動等調査より

H27

	順位	効果があった学校の措置
小学校	1	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。
	2	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	2	様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。
	4	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。
	4	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導に当たった。
	4	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。
	4	友人関係を改善するための指導を行った。
	4	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。
中学校	1	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	2	登校を促すため、電話をかけたり迎えにいくなどした。
	2	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。
	4	様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。
	5	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。
	6	スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。
	7	友人関係を改善するための指導を行った。

2 SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用



3 ネットトラブル未然防止のための ネットパトロール巡回結果から

(1) H28年度 滝川市への情報提供件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28 計	H27 計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	3	3	1	0	0	0	1	0	2	0	10	5
計	0	0	3	3	1	0	0	0	1	0	2	0	10	5

(2) H28年度 学校種別発見件数（北海道）

全道：7,264件（前年度比 1,939件減）

■小学校：7件 ■中学校：1,046件 ■高等学校：6,211件 ■特別支援学校：0件

小学校

項 目	26年度	27年度	28年度
いじめ・中傷	3	1	0
不法行為	0	0	0
不良行為	0	0	0
トラブル	0	0	0
個人情報の公開	6	2	3
その他	9	3	4
合 計	18	6	7

中学校

項 目	26年度	27年度	28年度
いじめ・中傷	4	2	3
不法行為	0	0	0
不良行為	1	4	2
トラブル	1	2	0
個人情報の公開	1875	1320	1025
その他	15	2	16
合 計	1896	1330	1046